



令和 9 年度予算編成方針（案）

令和 8 年 9 月 26 日
本 部 事 務 局

関西広域連合は、我が国の「もう一つの極」としての関西の実現に向け、第 6 期広域計画や第 3 期関西創生戦略に基づく重点事業を着実に推進しています。

また、人口減少社会への対応や東京一極集中の是正、SDGs、脱炭素社会の実現、大規模災害などの様々な課題に対して、総力を結集して取り組み、安心・安全で持続可能な社会を構築する必要があります。

一方、物価高の傾向が続く中、調達コスト増加の影響などにより、各構成府県市の財政は引き続き厳しい状況下に置かれると想定されることから、関西全体の広域的な視点での行財政改革が必要であり、令和 9 年度当初予算の編成に際しては、下記の方針に基づき「選択と集中」を徹底して予算要求するようお願いします。

記

1 第 6 期広域計画及び第 3 期関西創生戦略を踏まえた政策立案

第 6 期広域計画及び第 3 期関西創生戦略で示された、関西広域連合が目指すべき関西の将来像実現に資する政策を立案すること。

分野を横断する広域課題への対応や、分野間連携により相乗効果が期待できる取組については、本部事務局と分野事務局、分野事務局相互の緊密な連携を図ること。

また、地方分権改革を着実に推進していくため、国の事務・権限の移譲にも積極的に取り組むこと。

さらに、「大阪・関西万博」のレガシーを継承・発展させ、関西のあるべき将来像を実現するため、世界における関西の存在感を高めていく取組や、万博で披露された先端技術等の社会実装を促す取組を進めていくこと。

加えて、「ワールドマスターズゲームズ 2027 関西」の開催の機会を活用し、関西の魅力発信や発展につなげるよう取り組むこと。

2 広域リージョン連携に関する取組の推進

関西広域が目指すべき姿の実現に向け、関西広域リージョン連携ビジョンに基づく取組を実施する上で必要と認められる所要額については、十分に精査の上、計上すること。

また、国の地域未来交付金等の活用にも努めること。

3 広域連合議会等で得られた意見等への対応

広域連合議会での議論を十分に踏まえるとともに、広域連合協議会、市町村や経済界との意見交換会、定期監査及び決算審査等で得られた意見等については、内容を精査して必要な措置を講ずること。

4 「選択と集中」の徹底等

(1) 選択と集中

関西広域連合の取り組むべき課題として、広域的展開により事業効果が構成府県市全体に及ぶという観点から「スケールメリットの追求」と「選択と集中」を徹底し、これまでに取り組んできた事業の評価・検証等を行うこと。また、当該年度の目標目的を明確に定め、構成団体との役割分担、受益と負担、費用対効果、適切な事業期間や事業実施箇所等の観点から「スクラップ・アンド・ビルド」を行い、事業の効率化、スリム化を徹底すること。

その際、「広域連携による行財政改革推進」の取組を踏まえた検討を行うこと。

(2) 予算要求額の精査

令和8年度に引き続き、事業の効率化を徹底し、留意事項を勘案した上で、適切な事業執行にふさわしい予算額を要求すること。なお、下記のシーリング対象外経費を除く令和9年度当初予算要求額については、同経費を除く令和8年度当初予算額を上限とすること。

【シーリング対象外経費】

- ① ドクターヘリ関係、資格試験・免許関係等、特定財源を計上する経費
 - ② 財政調整基金積立金、公債費、予備費
 - ③ 会計年度任用職員等人件費
 - ④ その他人件費（報酬、謝金及びこれらに付随して支給する費用弁償）
 - ⑤ 固定費（事務所やコピー機等の借上料、追録代、システム等保守管理費 等）
 - ⑥ 庁舎維持管理費（光熱水費、通信運搬費、清掃委託料、手数料 等）
 - ⑦ 第6期広域計画に位置付けられた新規事業のうち、例外的に必要と認められる経費（広域連合委員会で方針決定された事業など、真にやむを得ないと認められるものに限る。）
 - ⑧ 大阪・関西万博のレガシーを活かした関西の成長・発展につなげていく取組に要する経費（万博を契機に進展した海外との連携を強化するための経費、万博で披露された先端技術等の社会実装を促すための経費、広域観光促進に向けた経費等）
- ※⑧の経費については、令和8年度当初予算額において、「大阪・関西万博のレガシーを受け継いだ関西の成長・発展に向けた経費」として認められた額を上限とする。（本部事務局及び各分野事務局間での要求枠の調整は可能とする。）

【留意事項】

- ・引き続き、会議や講習会等について、開催方法の検討や、廃止を含めた実施回数の見直しを行い、会場借上料、委託料、報酬・費用弁償等の減額を図ること。
- ・対当初予算執行率が低い事業においては、事業執行にふさわしい予算額を要求すること。